

誰もが安心して暮らせる地域を目指して 認知症への取り組みを紹介します

問合せ

高齢者支援課地域包括支援室(2階)

☎(20)1583 FAX(26)6788

毎年9月21日は「世界アルツハイマーデー」です。全国各地でアルツハイマー病をはじめとする認知症の啓発活動を行っています。この機会に認知症について考えてみませんか？

できることから始めよう

認知症サポーター養成講座

認知症についての基礎を学び、正しく理解することで、認知症の方やその家族を見守り、地域で支えるきっかけづくりになります。

認知症サポーターは、特別な活動ではなく、認知症の方やその家族の「応援者」です。これまで、小学生から高齢者、企業の従業員など、5千人以上の方が受講しています。

市内在住・在勤者を10人以上集めて会場を用意していただければ、認知症サポーター養成講座を無料で開催しています。

受講者にカードを配布します



早期発見・早期対応に向けて

認知症初期集中支援チーム

認知症は、早期発見・早期対応が何より重要です。

認知症初期集中支援チームは、医療・介護の専門職により、必要な介護の導入、家族支援などの初期支援を行い、自立支援のサポートを行うチームです。

ひどい物忘れや認知症が疑われるような症状でお困りの際は、必要に応じ、ご自宅にお伺いしてサポートします。

詳しくは、お近くの地域包括支援センターまでご相談ください。

チーム会議の様子



認知症ケアパス

認知症の方とその家族が、認知症の進行に合わせてさまざまな制度やサービスを円滑に受けられるよう、本市の制度やサービスを分かりやすくまとめたものです。

地域包括支援室、地域包括支援センターにて配布していますので、ご活用ください。



高齢者に長寿祝金を贈呈します

市では、9月15日「老人の日」の行事として、長寿のお祝いと敬老の意を表し、長寿の節目を迎える方に祝金を贈呈します。

◆対象

9月15日現在で長寿の節目を迎える方（米寿・白寿）および満100歳以上の方で、本市に引き続き1年以上居住し、本市の住民基本台帳に記録されている方。

ただし、9月14日までに、次のいずれかに該当する場合は、対象となりません。

- ①市外に転出したとき
- ②亡くなられたとき
- ③その他祝金の贈呈が適当でないと認められたとき

◆祝金の額

- ・米寿（満88歳の方） 5千円
（昭和8年9月17日～昭和9年9月16日生）
- ・白寿（満99歳の方） 1万円
（大正11年9月17日生～大正12年9月16日生）
- ・満100歳以上の方 2万円
（大正11年9月16日以前に生まれた方）

◆贈呈時期 9月下旬

※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、原則として口座振込。

問合せ 高齢者支援課 (2階) ☎(20)1572 FAX(26)6788